



朝晩の冷え込みが一段と厳しくなり、秋の深まりを感じる季節となりました。

校内では、いよいよ生徒会引継ぎの時期を迎え、次期生徒会役員選挙に向けた教室訪問が行われています。どのクラスでも、候補者や推薦責任者を温かく迎え、それぞれの演説に真剣に耳を傾ける姿が見られます。

4日の校長講話では、長野県中学校英語弁論大会で第3位に入賞し、中央大会（全国大会）への出場を決めた3年の足立礼実さんに、スピーチを披露してもらいました。茶道を通して学んだ経験や精神性をテーマにした内容で、流れるような英語のスピーチに圧倒された生徒も多くいたようです。

また、校長先生からは、11・12月の「人権教育強調月間」に関連して、いじめの問題を中心としたお話がありました。今年度、全校で継続的に取り組んでいるテーマでもあります。11月27日（木）の全校人権講話では、講師の方のお話をお聞きしたうえで、さらに考えを深めていきたいと思います。



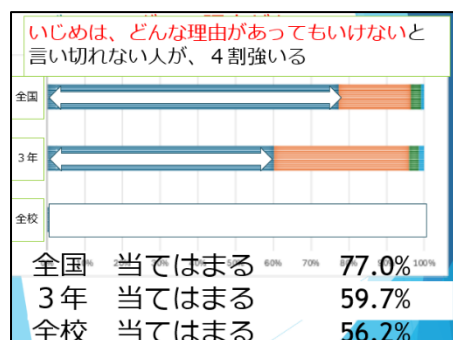
続 心の豊かさとは？ ～校長先生のお話より～

前期前半、私は吉田松陰の言葉を用いながら、夢をもつ大切さ、理想をもち、計画を立て、実行する大切さを伝えてきました。3B足立さんの夢は、国際的に貢献できる仕事に就きたいというものです。それに近づくために、現在足立さんはスピーチコンテストに挑戦しています。そこで、足立さんの取組を皆さんに紹介したいと思います。足立さんお願いします。

～足立さんのスピーチ～

足立さんありがとうございました。夢に向かって実行できるって素晴らしいよね。自分も夢に向かって頑張っているという人がいたら、私のところに来てください。足立さんのように紹介したいと思います。

さて、「たくましく 心豊かな 地球市民」であれ、「心の豊かさ」、特に「いじめ」について話を進めています。発端は、全国学力学習状況調査のアンケート結果でした。「いじめは、どんな理由があっても、いけないことだと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した人が少なかったことが、始まりでした。この結果を皆さんに紹介し、話し合う必要があるというたくさんの意見を受けて、今まで話し合ってきました。



しかし、こんな意見もありました。これは「3年生の意見で、全校の意見ではない」と。もっともだと思いました。そこで、皆さんにアンケートをとりました。全校アンケートの結果は、3年生よりも下がる、56.2%の結果でした。つまり、いけないことだと言いきれないのではと考える人が多いということです。先生は、皆さんが「適当に考えていない」こと、そして「正直に回答している」こと、本校の素晴らしいさだと思っています。皆さんはよく考えて向き合おうとしているからこそ、この結果を私は大事に考えたいと思っています。

3年生からこんな意見が寄せられています。

「いじめに対する捉え方が軽く、絶対にいけないと考えている人が少ないと分かった。つまり、大きな食い違いが起きて、いつか大きな問題を引き起こすことになりそうだった。だから、いじめについて、今一度話し合うことが大切だった」

この、食い違いである「いじめはどんな理由があってもいけない」と考えている人と、「いじめは状況によっては仕方がない」と考えている人がいるとすれば、大きな問題になる、つまり、「いじめが起こる」とこの生徒は私に伝えてくれていると思います。

実際に、アンケートで「あなたは、今までに、いじめられていると感じたことがありますか」という質問に、

「ある」と16%の人が回答しています。そして「あなたは、いじめられている人を見たことがありますか」という質問には30%の人、つまり1/3の人がいじめを見たと言っています。この厳しい状況だからこそ、私はいじめのない、みんなが安心安全な学校にするためにも、前回から言っている、「いじめてもよい理由」があるのかについて皆さんに考えてもらっています。

私のところに、「いじりがいじめにつながっていて、いけないと思う」と伝えてくれた3年生がいました。伝えてくれたことがまず、うれしいです。人は人を馬鹿にするのが、残念ながら面白く感じてしまうことがあります。できないことや、失敗を笑うのではなく、共に支え合えたら、そんな小さな笑いをとるよりも、その人自身の大きな成長にもつながるだろうし、仲間からの大きな信頼を得るのではないかと思います。

こんな意見も寄せられました。

「本当に理由がない理不尽ないじめはいけないことだと思うけれど、完全に100%いじめをしている側が悪いとは一概に言うことはできないと思うし、意見を聞かずにだめと言ってしまうのは、少し違うと思うので、いじめはいけないけれどいじめられない努力も少しは必要だと思うし、人間わかり合えないのはわかりきっているので、うまく生きていくには、気遣い合うことも必要だと思う。だけど、言った通り理由のないいじめはいけないから注意するべきだと思う」

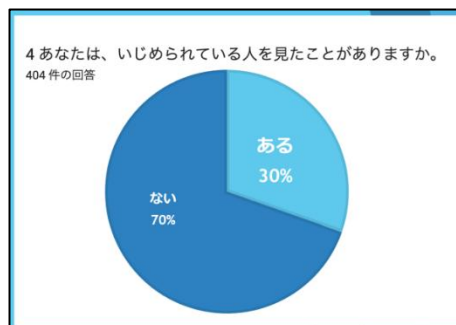
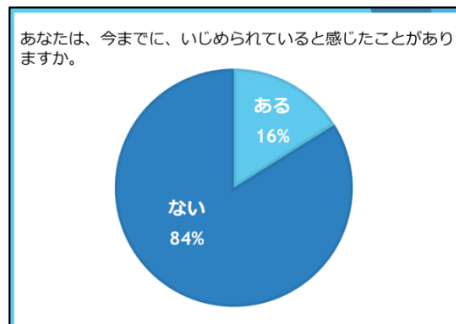
正直に、一生懸命書いたのが伝わる意見です。この生徒が言うように、意見を聞かないで、いじめをいけないと言っても違うと思うので、今話し合いをしてもらっています。そして、人が社会で生きていくには、自分も相手も尊重する思いやりが大事で、成長していかなければいけないことも先生も賛成です。でも、ここで、この人が提起している「理由のない理不尽ないじめ」について考えたいと思います。

先生は理由のないいじめなんかあるのかな？いじめた人は何か理由をつけるのではないかなと思うのです。どうしてそう思うか、事例で考えましょう。2年生の人は知っている話ですが、聞いてください。「わたしのいもうと」という絵本です。

～絵本を読む～

この妹をいじめた人は、理由なく理不尽にいじめたのでしょうか。違うよね、いじめた側は必ず理由を付けて、自分の中で正当化しながらいじめると思うのです。だから、先生は「いじめても良い理由なんてない」と思うのです。この絵本の妹は、「自分たちと違って、言葉がおかしかった。」「自分たちと違って、跳び箱ができなかった。」だから、クラスの恥さらし、くさい、豚、と言っていじめたんだよね。先生は、自分たちと違うからと言って、いじめてもよい理由にはならないと思うのです。

心豊かな地球市民を目指す皆さんはどう思いますか。また、教室で考えてみてください。



命の大切さを考える講演会 ～全校人権講話のご案内～

11月27日（木）の5・6時間目に、全校生徒を対象とした講演会「残された親の悲しみ・苦しみ ～息子の夢をつなぐために～」を開催します。講師には、いじめによってご子息を亡くされた経験をもつ武井美千代様をお迎えし、ご自身の体験をもとに、命の尊さやいじめのない社会をつくるために一人一人ができることについてお話しいただきます。

本講演を通して、生徒が自分の生活や言動を振り返り、「いじめを起こさない自分」「互いを大切にできるクラスや学校」をつくっていかうとする気持ちを育むことをねらいとしています。

保護者の皆様にも、ご都合のつく範囲でご参加いただき、ご家庭でお子さんと感想を語り合っていただければと思います。

- 1 日 時 令和7年11月27日（木）5・6時間目 13:25～14:35
- 2 会 場 体育館
- 3 その他 寒いことが予想されます。防寒対策を各自でお願いいたします。